

中国社会学会社会福祉研究専門委員会第9回年次大会および
社会福祉発展の新たな道のを分かち合う理論と実践国際フォーラム

国際学術交流促進委員 包 敏（広島国際大学）

中国社会学会社会福祉研究専門委員会の主催、厦門大学の共催による中国社会学会社会福祉研究専門委員会第9回年次大会が2017年11月17日から19日まで厦門大学で盛大に開催された。今年度の年次大会のメインテーマは「発展を分かち合い、社会福祉の新たな道なり」である。

本大会に先立ち、三つの会議が開かれた。日中韓社会福祉学会・委員会の責任者円卓会議の議題は、日中韓三か国の社会福祉分野の交流を引き続き推進することである。中国社会学会社会福祉研究専門委員会の会議では新しい理事の加入の議題を行い、理事会執行部の改選を実施した。そのうえ、新たに国際交流部、学術研究部と青年理事部を発足させた。中国社会学会社会福祉研究専門委員会青年部の会議では新たなプラットフォームを作り出し、ハイレベルの研究成果を生み出す方向性に関し、議論した。中国科学院学部委員の景天魁氏は改選の大会では「視野を広げ、領域を広げ、人員を拡大する」を題とする総括を行った。専門員会の発展の新たな方向性を示した。

中国社会学会社会福祉研究専門委員会新執行部の名簿

名誉理事長 景 天魁

名誉理事 顧 東輝（復旦大学）

理事長 彭 華民（南京大学）

副理事長 陳 樹強（中国青年政治学院） 錢 寧（西華大学）

趙 一紅（中国社会科学院） 高 和榮（厦門大学）

秘書長 房 莉杰（中国社会科学院）

副秘書長 潘 屹（中国社会科学院） 劉 軍強（中山大学） 万 国威（南開大学）

喬 東平（北京師範大学） 黄 晨曦（華東師範大学）

韓 央迪（復旦大学）

国際交流部部長 潘 屹

学術研究部部長 熊 躍根（北京大学）

青年理事部部長 劉 軍強

11月18日午前9時、中国社会学会社会福祉研究専門委員会第9回年次大会が厦門大学科学芸術センターで開会された。中国社会学会社会福祉研究専門委員会副理事長の高和栄先生が開会式を司会し、厦門大学学長補佐趙鉄教授、中国社会学会社会福祉研究専門委員会理事長彭華民教授、韓国社会福祉学会李奉柱教授、日本社会福祉学会副会長黒木保博教授と厦門大学公共事務学院副院長朱仁顕教授が開会式で挨拶した後、南京大学の彭華民先生、中国社会科学院潘屹先生、韓国社会福祉学会李奉柱会長と日本社会福祉学会副会長である黒木保博先生による基調講演を行った。

大会では社会福祉システム作り、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、教育福祉、就業福祉、貧困救助開発、社区と高齢者、社会サービス研究と社区管理等の10セッションに分けて、口頭発表が行われた。開会期間中、東アジア社会福祉フォーラム、兩岸社会福祉と社区発展シンポジウムなども開催された。大会では200人以上の専門家が一堂に集まり、「発展を分かち合う社会福祉の理論と実践を巡り、中国の実情・経験と結びつき、議論を交わした。19日に閉会式を行った。



日中韓社会福祉学会・委員会の責任者円卓会議